社会福祉振興助成事業の評価方針

社会福祉振興助成事業審査・評価委員会

独立行政法人福祉医療機構(以下「機構」という。)は、社会福祉振興助成事業(以下「助成事業」という。)を通じて、多様な社会資源がそれぞれの地域で有機的に連携・協働し、それぞれの得意とする活動を行いながら人と地域の結びつきをより強くし、支え合いと活気に満ちた地域社会の再生を目指すシステムづくりに取り組み、高齢者・障がい者が地域の支え合いの中で自立した生活が送れる社会、また、子どもたちが健やかに安心して成長できる社会の実現を目指すこととしている。

助成事業の評価に当たっては、助成を受けて実施された事業がどのような成果を上げ、 社会にどのような影響を与えたかについて、次の方針に基づき行うものとする。

I 事業評価の目的

- (1) 政策動向や国民ニーズを踏まえ助成した事業について、「期待した成果を上げているか、その成果が社会にどのような影響を与えたか」を効果測定すること。
- (2) 優れた事業を広報することにより、全国・広域での普及啓発を図ること。
- (3) 評価結果を、助成プログラムの改善に活かすこと。
- (4) 限られた資源を有効に配分し、最大限の効果を上げること。
- (5) 新たな対応が必要な課題を発掘し、その課題を国に提言することにより政策への反映を図ること。
- (6) 評価結果を公表することにより、国庫補助金による助成事業の運営主体として、 国民に対する説明責任を果たすとともに、助成事業の一層の透明化を図ること。
- (7) 評価のプロセスを通じて、助成事業の継続・自立を促すとともに、助成先団体の活動の発展・改善に貢献すること。

Ⅱ 評価の進め方

1. 評価の方法

- (1)自己評価(助成先団体による評価)助成事業終了後、機構が定める様式(自己評価書)に基づき、助成先団体が自己評価を実施する。
- (2)ヒアリング評価

前年度に機構が助成した全事業の中から社会福祉振興助成事業審査・評価委員会(以下「審査・評価委員会」という。)の審議を経て決定した基準に基づき選定した事業について、審査・評価委員会委員又は機構事務局が、助成先団体を直接ヒアリングし、評価を実施する。

(3)書面評価

(2)のヒアリング評価の対象とならなかった事業について、助成先団体が提出した事業完了報告書等に基づき、機構事務局が書面評価を実施する。

2. 評価の項目・基準

(1)ヒアリング評価

ア. 評価項目

	評価項目	評価の視点	ウエイト
	事業推進姿勢	・事業実施のための明確な理念を持っているか ・事業に取り組む意欲・積極性は十分だったか	1
プロセス評	事業実施体制	・団体内部のガバナンス体制の確保等、実施体制が整っており、また必要な専門性を備えているか ・有効性、実効性のある外部資源の活用・連携ができたか	1
価	事業実施プロセス	事業目的の実現のため、効果的、効率的、 経済的な手法を用いて実施できたか事業の利用者等の評価を確認し、継続的 な改善に結び付けているか	1
	アウトプット (直接的成果)	・事業が計画どおりに実施され、予定した 成果を生むものとなったか・量的な指標をどの程度達成できたか	2
成 果 評	アウトカム(質的成果)	・事業の利用者等のニーズを満たし、価値 ある成果を上げることができたか	3
価	イ ン パ ク ト (社会的成果)	事業の成果が地域や社会へどのようなインパクトを与えると想定されるか事業の成果の他地域への広がりやその可能性がみられるか	2

※ウエイトの合計は10

イ. 評価基準

レベル	スコア	評価指標
C	1 0	- 非常に高く評価できる水準にあるもの
5	9	非吊に向く評価できる小学にあるもの
Λ	8	高く評価できる水準にあるもの
	7	同く計画できる小学にあるもの

В	6	良好な水準にあるが、一部課題のあるもの
Ь	5	及好な小学にあるが、一部味趣のあるもの
	4	一定の水準にあるが、かなり課題のあるもの
	3	一定の小学にあるが、かなり味趣のあるもの
<u> </u>	2	全般的に多くの課題のあるもの
D	1	主放的に多くの味趣のあるもの

(2)書面評価

ア. 評価項目

	評価項目	評価の視点	ウエイト
プロセ	事業実施体制	・団体内部のガバナンス体制の確保等、実施体制が整っており、また必要な専門性を備えているか ・有効性、実効性のある外部資源の活用・連携ができたか	1
セス評価	事業実施プロセス	・事業目的の実現のため、効果的、効率的、 経済的な手法を用いて実施できたか・事業の利用者等の評価を確認し、継続的 な改善に結び付けているか	2
成果	ア ウ ト プ ッ ト (直接的成果)	事業が計画どおりに実施され、予定した 成果を生むものとなったか量的な指標をどの程度達成できたか	3
価	アウトカム(質的成果)	・事業の利用者等のニーズを満たし、価値 ある成果を上げることができたか	4

[※]ウエイトの合計は 10

イ. 評価基準

レベル	スコア	評価指標
S	1 0	非常に高く評価できる水準にあるもの
5	9	非吊に向く評価できる小学にあるもの
А	8	│ - 高く評価できる水準にあるもの
A	7	同く計画できる小学にあるもの
В	6	│ │ 良好な水準にあるが、一部課題のあるもの
В	5	及好な小年にあるが、一時味趣のあるもの
С	4	│ │ 一定の水準にあるが、かなり課題のあるもの
	3	たの小手にあるが、かなり味趣のあるもの
D	2	│ - 全般的に多くの課題のあるもの
	1	土川スロゴミタ へい 赤尾りのの もり

3. 総合評価

「ア. 評価項目」の項目ごとに「イ. 評価基準」の5段階(SからD)で評価し、 レベルのなかでも上位に近いのか下位に近いのかを判定したうえで、各評価項目のス コアを決定する。

各評価項目のスコアに「ア. 評価項目」のウエイトを掛け合わせ、その合計を総合 スコアとする。

総合スコアをもとに、次の5段階(SからD)で総合評価を決定する。

総合評価	総合スコア	評価指標
S	90 以上	非常に高く評価できる水準にあるもの
А	70 以上 90 未満	高く評価できる水準にあるもの
В	50 以上 70 未満	良好な水準にあるが、一部課題のあるもの
С	30 以上 50 未満	一定の水準にあるが、かなり課題のあるもの
D	30 未満	全般的に多くの課題のあるもの

Ⅲ 評価結果の活用

1. 団体へのフィードバック

ヒアリング評価の結果については、原則、評価者の合意を得たのち、評価を担当した委員及び機構事務局それぞれの所見を付して、評価対象団体あてにフィードバックすることにより、制度や機構内部の改善のみならず、団体の活動や事業展開の参考にも供することとする。

2. 審査への反映

ヒアリング評価により得られた事業の評価結果については、審査・評価委員会において共有し、以後の審査の参考とする。

3. 優れた事業の普及啓発

評価の結果、特に優れていると認められた事業については、機構ホームページ、広報誌、事業報告会などにより広報することで、全国・広域での幅広い普及啓発を図る。

4. 評価結果の公表、助成制度の改善、政策への提言

審査・評価委員会は、評価結果を年度末に事業評価報告書として取りまとめ、機構に報告、提案するとともに、機構は、機構ホームページ上などで公表する。

また、機構はその内容に基づき、助成制度の改善に努めるとともに、課題によって 国に対して政策の提言を行う。

Ⅳ フォローアップ調査

機構事務局は、助成事業終了後から1年以上経過後に、助成先団体へのフォローアップ調査を実施し、助成事業の継続状況や財源、助成事業による効果や課題などを把握し、助成制度や助成先団体への支援の在り方の継続的な改善などに結びつけることとする。

V 委員の遵守事項

- (1) 委員は、公平・公正で厳格な評価を行うべきことを常に認識すること。
- (2) 評価の公平·公正を確保するため、委員がヒアリング評価の対象団体の運営に関わるなど利害関係者に該当する場合は、当該団体のヒアリング評価を実施できないこと。

また、当該団体の役職員と親密な個人的関係があるなど利害関係者に該当すると自ら判断した場合は、当該団体のヒアリング評価を担当しないこと。

なお、利害関係者に該当し、ヒアリング評価を担当しない場合は、その旨を機構事務局に報告すること。

(3) 委員は、評価を行う際に知り得た情報を第三者に漏らしてはならないこと。

$\overline{}$	ı
#	
3:	
垣	
#	
\sim	

账
罕然
引集
の設問別集計結果
画の画
山智角
Ö

事業報題													-							I			<u>+</u>	È
							1次	募集								23	2次募集							
		間面	桿		78件)		地域連携	(138件)		₩		41件)		岩垣	連携(554	(#		全国広域(8件)	(8件)		ŲΠ	合計 (320件)	#)	
		<u> </u>	+ 分		不十分		+%	+*	次	+	,	不十分		+%		不十分	+	+	不十分		十分		不十分	
2. 事業製価本料(3. 要請金を機能性をもつて取り組めため)73100.0h673100.0h673100.0h673100.0h673100.0h673100.0h673100.0h73100.0h73100.0h73100.0h73100.0h73100.0h73100.0h73100.0h73100.0h73100.0h73100.0h73100.0h73100.0h73100.0h73100.0h73100.0h73 </th <th>1. 事業推進姿勢</th> <th>(1)明確な理念をもって取り組めたか</th> <th>78</th> <th>100.0%</th> <th>0</th> <th>%0:0</th> <th></th> <th>0</th> <th>%0:0</th> <th>41</th> <th>100.0%</th> <th>0</th> <th>%0.0</th> <th></th> <th>8.2%</th> <th>1.8%</th> <th>8 8</th> <th>100.0%</th> <th>0</th> <th>%0:0</th> <th>319</th> <th>99.7%</th> <th>-</th> <th>0.3%</th>	1. 事業推進姿勢	(1)明確な理念をもって取り組めたか	78	100.0%	0	%0:0		0	%0:0	41	100.0%	0	%0.0		8.2%	1.8%	8 8	100.0%	0	%0:0	319	99.7%	-	0.3%
2. 毒素美術格制 (4)提供的建設的 (4)提供的建設的、発出達を提供的可能等を提供したか (5)指指信は左右性機を可能能・定義性に変わい。 (5)指指信は左右性機を可能能・定義性に変わい。 (5)指指信は左右性機を可能能・定義性に変わい。 (5)指指信は左右性機を可能能・定義性に変わい。 (5)指指信は左右性機を可能能・定義性に変わい。 (5)指指信は左右性機を可能能・定義性に変わい。 (5)指指信は左右性機を可能能・定義性に変わい。 (5)指指信は左右性機を可能能・定義性に変わい。 (5)指指信は左右性機を可能能・定義性に変わい。 (5)指指信は左右性機を可能能・定義性に変わい。 (5)指指信は左右性機を可能能・定義性に変わい。 (5)指指信は左右性機を可能能・定義性に変わい。 (5)指指信は左右性機を可能能を可能がで (6)指指信は左右性機を可能能を可能がで (6)指指信は左右性機を可能能を可能がで (6)指指信は左右性機を可能能を可能がで (6)指指信は左右性機を可能がで (6)指指信は左右性機を可能性を可能性を (6)指指信は左右性機を可能性を (6)指指信は不分のでは (6)指指信は左右性機を可能性を (6)指指信は左右性機を可能性を (6)指指信は左右性機を可能性を (6)指指信は不分のでは (6)指指信は不分のでは (6)指指信は正規を (6)指指信は不分のでは (6)指指信は不分のに (6)指指信は不分のでは (6)指指性を (6)指指に (6)指指に (6)指指に左右性機を (6)指指性を (6)指指性を (6)指指に左右性機を (6)指指性を (6)指性を (6)を (6)を (6)を (6)を (6)を (6)を (6)を (6)		(2) 意欲や積極性をもって取り組めたか	78	100.0%	0	%0:0		0	%0:0	41	100.0%	0	%0:0		%0.0%	0.0%	8	100.0%	0	%0:0	320	100.0%	0	%0:0
(3) ((3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	2. 事業実施体制	(3)委員会を組織し、運営や役割分担等を検討したか	70	89.7%		10.3%		9	4.3%	40	97.6%	-	2.4%		6.4%	2 3.6%	8	100.0%	0	%0:0	303	94.7%	17	5.3%
(6) 母類的な手段を発表を表表的に表現できたかっての確保 72 823% 6 77% 132 865% 6 4 23% 4 976% 7 2 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8		(4)役割分担を決め、各担当者が責任を持って実施したか	89	87.2%		12.8%		16	11.6%	39	95.1%	2	4.9%		%6.0	5 9.1%	8	100.0%	0	%0:0	287	89.7%	33	10.3%
(6) 回媒内部で機模主有や組織を行うたか		(5)専門知識を持ったスタッフやボランティアの確保	72	92.3%	9	7.7%		9	4.3%	40	97.6%	1	2.4%		8.2%	1.8%	7	87.5%	-	12.5%	305	95.3%	15	4.7%
(1) 連携団体と発達権権等や展達・大学・ディンーク表示用したか 75 97-45 1 2 26 1 130 94.37 8 6 58 40 9.76 1 2 49 5 6 9 5 8 9 9 5 8 9 9 5 8 9 9 5 8 9 9 5 8 9 9 5 8 9 9 5 8 9 9 5 8 9 9 5 8 9 9 9 9		(6)団体内部で情報共有や協議を行ったか	73	93.6%	2	6.4%		2	3.6%	40	97.6%	-	2.4%		8.2%	1.8%	8	100.0%	0	%0:0	308	96.3%	12	3.8%
3. 美添了口忙人 (6) 各連機団体の/ウパウ・ネットワークを活用したが 76 97.4% 2 2.6% 130 94.2% 6 5.8% 40 97.6% 1 2.4% 5 6.5% 13 94.3% 2 1.5% 1.5 1.5% 1.5 1.5% 1.5 1.5% 1.5 1.5% 1.5 1.5% 1.5 1.5% 1.5 1.5% 1.5 1.5% 1.5 1.5% 1.5 1.5% 1.5 1.5% 1.5 1.5% <th< th=""><th></th><th>(7)連携団体と各種情報や課題・成果の共有化</th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th>6</th><th>6.5%</th><th>39</th><th>95.1%</th><th>2</th><th>4.9%</th><th></th><th>4.5%</th><th>9.</th><th>5% 8</th><th>100.0%</th><th>0</th><th>0.0%</th><th>228</th><th>94.2%</th><th>14</th><th>5.8%</th></th<>		(7)連携団体と各種情報や課題・成果の共有化						6	6.5%	39	95.1%	2	4.9%		4.5%	9.	5% 8	100.0%	0	0.0%	228	94.2%	14	5.8%
3. 美藤プロも人 (10) 熱量がの手腕・手後を目いて実施できたか 62 79.5 16 50 16 40 18 20 11 04.0 18 20 15.9 18 04.9 17 5.1 18 04.9 18 04.1 20 11.9 18 04.1 20 11.9 18 04.1 18 04.0 18 04.1 18 04.0 18 04.1 18 04.0 18 04.0 18 04.1 18 04.0 18 04.1 18 04.0 18 04		(8)各連携団体のノウハウ・ネットワークを活用したか	92	97.4%	2	2.6%		8	5.8%	40	97.6%	1	2.4%		4.5%	3 5.5%	8	100.0%	0	%0.0	306	92.6%	14	4.4%
(1)の効果的な手後・手法を用いて実施できたか 75 96.2 3 38.9 131 94.9 7 5.1% 38 92.7% 38	3. 実施プロセス	(9)計画どおり実施できたか	62	79.5%		20.5%		22	15.9%	38	92.7%	3	7.3%		3.6%	9 16.4%	9 %	75.0%	2	25.0%	268	83.8%	. 25	16.3%
(1) 製用支出は適切か 74 94.9% 4 51% 61%		(10)効果的な手段・手法を用いて実施できたか	22	96.2%	3	3.8%		L	5.1%	38	92.7%	3	7.3%		6.4%	2 3.6%	8	100.0%	0	%0.0	305	95.3%	15	4.7%
(13) 地震快速機関等への広報 7 94.9% 4 51.8 131 94.9% 7 51.8 131 94.9% 7 51.8 131 94.9% 7 51.8 131 94.9% 7 51.8 133 94.9% 7 51.8 133 94.9% 7 13.8 13.8 13 96.4% 5 36.8 4 97.6% 1 2.4% 5 92.7% (14) 事業的報報的交換工程		(11)費用支出は適切か	74	94.9%	4	5.1%		2	3.6%	39	95.1%	2	4.9%		8.2%	1.8%	8	100.0%	0	0.0%	308	%8:96	12	3.8%
(13)事業内容に見合うに連携・協働事業ができたか 7 98.7% 1 138 128 6.5% 40 91.6% 40 91.6% 40 91.6% 40 91.6% 40 91.6% 40 91.8% 65.8% 40 91.6% 40 91.8% 92.8% 40 91.8% 4		(12)他団体や関係機関等への広報	74	94.9%	4	5.1%		L	5.1%	38	92.7%	3	7.3%		2.7%	4 7.3%	8	100.0%	0	0.0%	302	94.4%	18	5.6%
4. プウトラット (賃貸的成果) (16) 目標とおりの参加者(利用者)を確保できたか 76 77 88.7% 1 1.3%		(13)事業内容に見合った連携・協働事業ができたか						6	6.5%	40	97.6%	1	2.4%		8.2%	1 1.8%	8	100.0%	0	0.0%	231	95.5%	11	4.5%
(百貨的成果) (15)目標とおりの参加者(利用者)を確保できたか 56 71.8% 22 28.2% 104 75.4% 24 24.5% 25 28.2% 104 75.4% 27.9% 25.6% 12 6.5% 27.5% 25 26.8% 12 95.5% 95.5% 95.5% 95.5% 96.5% 37 90.2% 4 96.5% 97.5% 4 96.5% 4 96.5% 4 96.5% 4 96.5% 4 96.5% 4 96.5% 4 96.5% 4 96.5% 4 96.5% 4 96.5% 4 96.5% 4 96.5% 4 96.5% 4 96.5% 4 96.5% 4 96.5% 4 96.5% 96.5% 96.5% 4 96.5% 96.5% 96.5% 4 96.5% 96.5% 96.5% 96.5% 96.5% 96.5% 96.5% 96.5% 96.5% 96.5% 96.5% 96.5% 96.5% 96.5% 96.5% 96.5% 96.5% 96.5% 96.5%		(14)事業の継続的な改善に結び付けたか	11	98.7%	1	1.3%		2	3.6%	41	100.0%	0	%0.0		2.7%	4 7.3%	8	100.0%	0	0.0%	310	%6:96	10	3.1%
(16)目標とした成果に続けるぐ結果となったか 76 97.4% 2 26% 129 95.5% 9 6.5% 37 90.2% 4 9.8% 51 92.7% 5. プウトカム (質的成果) (17)参加者(利用者)のニーズを満たせたか 74 94.9% 4 51% 132 95.7% 6 4.3% 41 10.0% 0 60 92.7% 95.7% 6 4.3% 41 10.0% 0 60 92.7% 96.4% 5 36.4% 5 36.4% 7 96.4% 97.8% 40 97.6% 4 98.7% 96.4% 5 36.4% 5 36.4% 5 36.4% 5 36.4% 5 36.4% 5 36.4% 5 96.4% 5 36.4% 5 96.4% 5 96.4% 5 96.4% 5 96.4% 5 96.4% 5 96.4% 5 96.4% 5 96.4% 5 96.4% 5 96.4% 5 96.4% 5 96.4% 5 96.4%	4. アウトブット (直接的成果)	(15)目標どおりの参加者(利用者)を確保できたか	26	71.8%		28.2%		34	24.6%	27	65.9%	14	34.1%		6.4%	13 23.6%	8	100.0%	0	0.0%	237	74.1%	83	25.9%
5.プウトンム (質)的成果) (17)参加者(利用者)のニーズを満たせたか (質)的成果) (17)参加者(利用者)のニーズを満たせたか (19)組織の拡大 (19)組織の拡大 (20)団体内の人材確保・育成 76 97.4% 2 2.6% 133 96.4% 5 3.6% 4 97.6% 1 2.6% 13 96.4% 5 3.6% 4 97.6% 1 2.6% 1 2.6% 1 2.6% 1 2.6% 1 2.6% 1 2.6% 1 2.6% 1 2.6% 1 2.6% 1 2.6% 4 9.6.% 1 2.4% 2 2.6% 1 8 3.6% 4 9.6.% 7 9.6.% 7 9.6.% 1 8 1 2.4% 3 8.5.% 6 1.4% 3 8 9.6.% 7 9.6.% 9.6.% 1 1.4% 3 8 9.6.% 9.6.% 9.6.% 9.6.% 9.6.% 9.6.% 9.6.% 9.6.% 9.6.% 9.6.% 9.6.% 9.6.% 9.6.% 9.6.% 9.6.% 9.6.% 9.6.% 9.6.% </th <th></th> <th>(16)目標とした成果に結びつく結果となったか</th> <th>92</th> <th>97.4%</th> <th>2</th> <th>2.6%</th> <th></th> <th>6</th> <th>6.5%</th> <th>37</th> <th>90.2%</th> <th>4</th> <th>9.8%</th> <th></th> <th>2.7%</th> <th>4 7.3%</th> <th>8</th> <th>100.0%</th> <th>0</th> <th>0.0%</th> <th>301</th> <th>94.1%</th> <th>19</th> <th>5.9%</th>		(16)目標とした成果に結びつく結果となったか	92	97.4%	2	2.6%		6	6.5%	37	90.2%	4	9.8%		2.7%	4 7.3%	8	100.0%	0	0.0%	301	94.1%	19	5.9%
(18)投じた費用に見合う,期待した効果をあげたか 76 97.48 2 26% 133 96.48 5 3.6% 40 97.6% 1 2.4% 5 36.4% 96.4% 96.4% 96.4% 97.6% 1 2.6% 1 2.6% 1 2.6% 1 2.6% 1 2.6% 1 2.6% 96.4% 96.4% 96.4% 97.6% 1 2.6% 1 2 4 96.4% 97.8% 97.8% 98.6% 2 1.4% 36 86.4% 96.4% 98.6% 2 1.4% 36 86.4% 6 14.6% 90.9% 97.8% 97.	ن. 2	(17)参加者(利用者)のニーズを満たせたか	74	94.9%	4	5.1%		9	4.3%	41	100.0%	0	%0:0		2.7%	4 7.3%	7	%5'28	1	12.5%	305	95.3%	15	4.7%
(19)組織の拡大 66 84.6% 12 15.4% 112 81.2% 26 18.8% 35 85.4% 6 14.6% 73 78.2% 1 (20)団体内の人村確保・育成 68 87.2% 10 12.8% 11 81.2% 26 14.8 35 85.4% 6 14.6% 50 90.9% (21)新たなネットワークの構築 67 85.9% 11 14.1% 136 98.6% 2 14.4 38 3 37.3% 52 94.5% (22)団体の成長や認知庫・養養の計画があるか 77 98.7% 1 1.3% 136 98.6% 2 1.4% 3 27.3% 52 94.5% (23)事業機構し、充実・発展の計画があるか 77 98.7% 1 1.3% 96.5% 4 1 10.0% 0 <		(18)投じた費用に見合う、期待した効果をあげたか	9/	97.4%	2	2.6%		2	3.6%	40	97.6%	1	2.4%		6.4%	2 3.6%	8	100.0%	0	0.0%	310	%6:96	10	3.1%
(20)団体内の人材確保・育成 68 87.2% 10 12.8% 11 81.2% 12 81.2% 12 81.2% 12 81.2% 12 81.2% 12 81.2% 12 12.8% 12		(19)組織の拡大	99	84.6%		5.4%		26	18.8%	35	85.4%	9	14.6%		8.2%	12 21.8%	7	87.5%	1	12.5%	263	82.2%	. 22	17.8%
(22) 事件なネットワークの構築 67 85.8 11 14.1% 136 98.6% 2 1.4% 38 92.7% 3 92.7% 3 7.3% 52 94.5% (22) 団体の成長や認知度・情報度がアップしたか 78 100.0% 0 13 98.7% 1 1.3% 13 98.6% 2 1.4% 4 4 1.3% 13 98.6% 2 1.4% 4 1.00 6 0		(20)団体内の人材確保・育成	89	87.2%		2.8%		26	18.8%	35	85.4%	9	14.6%		0.9%	5 9.1%	9	75.0%	2	25.0%	271	84.7%	49	15.3%
(22) 団体の成長や認知度・信頼度がアップしたか 78 100.0% 0.0% 137 98.3% 1 1.3% 1.		(21)新たなネットワークの構築	49	85.9%		4.1%		2	1.4%	38	92.7%	3	7.3%		4.5%	2	5% 8	100.0%	0	0.0%	301	94.1%	19	5.9%
(23)事業機械し、充実・発展の計画があるか 77 98.7% 1 1.3% 136 98.6% 2 1.4% 41 100.0% 0 0.0% 54 98.2% インパクト (社会的成果) (24)マスコミへの波及効果 44 56.4% 34 43.6% 92 66.7% 46 33.3% 27 65.9% 14 34.1% 38 69.1% 1		(22)団体の成長や認知度・信頼度がアップしたか	78	100.0%	0	%0:0		1	0.7%	38	92.7%	3	7.3%		0.0%	0 0.0%	8	100.0%	0	0.0%	316	98.8%	4	1.3%
(社会的成果) (24)マスコミへの波及効果 44 564% 34 436% 92 66.7% 46 33.3% 27 65.9% 14 34.1% 38 69.1% 1 (社会的成果)		(23)事業継続し、充実・発展の計画があるか	77	98.7%	1	1.3%		2	1.4%	41	100.0%	0	0.0%		8.2%	1.8%	8	100.0%	0	0.0%	316	98.8%	4	1.3%
	6. インパクト (社会的成果)	(24)マスコミへの波及効果	44	56.4%		%9:81		46	33.3%	27	65.9%	14	34.1%		9.1%	17 30.9%	3	37.5%	2	62.5%	204	63.8%	116	36.3%
74 94.9% 4 5.1% 135 97.8% 3 2.2% 41 100.0% 0 0.0% 53 96.4%		(25)地域や社会への広がりを期待できるか	74	94.9%	4	5.1%	135 97.8%	3	2.2%	41	100.0%	0	%0.0	53 9	6.4%	2 3.6%	8 8	100.0%	0	0.0%	311	97.2%	6	2.8%

				1次	次募集				2次募集	镁			
		福址活動	(78件)	地域連携	(138件)	全国広域	(41件)	地域連携((25件)	全国広域	成(8件)	(3	(320件)
	回視	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合	事業数	割合
	S 非常に高く評価できる水準にある	6	11.5%	20	14.5%	6	22.0%	6	16.4%	1	12.5%	48	15.0%
_	A 高く評価できる水準にある	37	47.4%	72	52.2%	26	63.4%	23	41.8%	7	87.5%	165	51.6%
10000000000000000000000000000000000000	B 良好な水準にあるが、一部課題がある	00	38.5%	42	30.4%	9	14.6%	21	38.2%	0	%0.0	66	30.9%
ta a	C 一定の水準にあるが、かなり課題がある	2	2.6%	4	2.9%	0	%0.0	2	3.6%	0	%0.0	8	2.5%
_	D 全般的に多くの課題がある	0	%0.0	0	%0'0	0	%0.0	0	%0.0	0	%0.0	0	%0.0
_	4-	8/	100.0%	138	100.0%	41	100.0%	55	100.0%	8	100.0%	320	100.0%

平成26年度社会福祉振興助成事業に係る自己評価書

受付番号 (内定通知に記載の2014 から始まる番号11桁)					
助成区分					
助成事業名					
	名称				
団体情報	連絡先(電話番号)	()		
	自己評価書作成者				

【作成にあたっての留意点】

- 1. この自己評価書は、1助成事業ごとに作成してください。
- 2. 自己評価書の記載内容については、**必ず事業実施責任者の確認・了解のもと**で作成し、ご提出ください。
- 3. 事業完了報告書の「事業成果」欄でご記入いただく「具体的な成果等」「波及効果」「新たなニーズ」等の項目は、自己評価の項目としても扱わせていただいております。従いまして、<u>事業完了報告書にはこれらの項目をできるだけ具体的に</u>ご記入ください。
- 4. ご記載いただいた自己評価書は必ずコピーをとり、団体の控えとして大切に保管してください。

今回の回答結果を参考に、今後電話やヒアリングの実施などにより、お話をうかがう ことがありますので、記述欄については詳しくご記入ください。

今後は、事業の継続状況やその後の波及効果等をお伺いするフォローアップ調査を行いますので、引き続きご協力をお願いいたします。フォローアップ調査は平成28年に 実施予定です。 助成事業を振り返り、次の各設問について、<u>選択肢のア又はイのいずれか一方を必ず選択</u> し、口にチェック(2)してください。 また、チェック完了後、事業の総合評価として、<u>S~D</u> のうち該当するものを選択してください。

		自己評価項目	選択肢(チ	エック欄)
			ア	1
1.事業推進姿勢	(1)	助成事業は、事業実施のための明確な理念 をもって取り組みましたか?	取り組んだ	不十分だった
	(2)	助成事業は、十分な意欲や積極性をもって 取り組みましたか?	検討した	不十分だった
2.事業実施体制	(3)	事業の実施にあたり、委員会を組織し、組 織運営や役割分担等を検討しましたか?	検討した	不十分だった
	(4)	企画・運営・広報・会計等、役割分担を明確にし、各担当者が責任を持って事業を実施する体制がとれましたか?	とれた	不十分だった
	(5)	専門知識を持ったスタッフやボランティア を確保し、事業を実施する体制がとれまし たか?	とれた	不十分だった
	(6)	団体内部での情報共有や協議を行いながら 事業を実施できましたか?	できた	不十分だった
	(7)	連携団体同士で助成事業に関わる各種情報 や課題・成果の共有化を図りましたか?	図った	不十分だった
	(8)	団体(各連携団体)がもつノウハウやネット ワークを活用しましたか?	活用した	不十分だった
3.実施プロセス	(9)	助成金申請書に記載した事業内容を、計画 どおり実施できましたか?	できた	不十分だった
	(10)	事業目的を達成するために、効果的な手段・ 手法を用いて事業を実施できましたか?	できた	不十分だった
	(11)	事業内容に見合った支出を行いましたか?	行った	不十分だった
	(12)	助成事業の実施状況や事業の成果(成果物等)を他団体や関係機関等に広報(配布・情報提供)しましたか?	広報した	不十分だった
	(13)	事業内容に見合った連携・協働ができまし たか?	できた	不十分だった
	(14)	参加者(利用者)のニーズや満足度を確認し、事業の継続的な改善に結び付けることができましたか?	できた	不十分だった

		自己評価項目		エック欄)
			ア	1
4.アウトプット (直接的成果)	(15)	計画時に、主な対象者として狙った層を中心に、目標どおりの参加者(利用者)を確保することができましたか? (マニュアル等の作成の場合、目的に沿った成果物を作成できましたか?)	できた	不十分だった
	上記(1: ださい。	5)の設問で「不十分」となった要因について	こ、具体的は	こご記入く
	(16)	実施した事業は、目標とした成果に結びつ くような結果となりましたか?	なった	不十分だった
5.アウトカム (質的成果)	(17)	参加者(利用者)のニーズを満たすことが できましたか?	できた	不十分又は 未確認 □
	(18)	投じた費用に見合う、期待した事業効果を あげることができましたか?	できた	不十分だった
	(19)	会員や賛同者が増え、組織を拡大すること ができましたか?	できた	影響なし □
	(20)	団体内の人材確保・育成につながりましたか?	つながった	影響なし
	(21)	事業を通じて、他団体、関係機関等との新 たなネットワークを構築できましたか?	できた	不十分又は 特になし
	(22)	助成事業の実施により、団体自身の成長や 認知度・信頼度のアップにつなりました か?	できた	影響なし
	(23)	助成事業を継続し、事業規模や対象地域の 拡大、または事業内容を充実・発展させる 計画がありますか?	ある	ない
6.インパクト (社会的成果)	(24)	助成事業の実施やその成果物(チラシ・ポスター・報告書・テキスト等)の広報により、マスコミに取り上げられる等の波及効果がありましたか?	あった	なかった
	(25)	助成事業をきっかけに事業への関心が高まり、地域や社会に事業が広がることを期待できますか?	できる	できない
	上記(2)ださい。	5)の設問で「期待できる」と回答された根拠	心を具体的に	こご記入く

	◎総合評価:設問の自己評価結果及び完了報告書に記載された事業実績・ 事業成果などを勘案したうえで、総合評価してください。								
総合評価 (S~Dに該当する もの1つを選択)									
	S:非常に高く評価できる水準にあるもの								
	A:高く評価できる水準にあるもの								
総合評価の 判断基準	B:良好な水準にあるが、一部課題のあるもの								
	C:一定の水準にあるが、かなり課題のあるもの								
	D: 全般的に多くの課題のあるもの								
助成事業を連携しついてご記入くだる	して実施したことにより生じたメリット・デメリット、その他気づいたことに さい。								
	面を踏まえて、特に難しかったことはどのような点でしたか。また、今後うま								
	どのようなことが必要だと思いましたか。								
福祉医療機構(WAM)へのご意見・ご要望など								
1. WAMの助成事業	業を利用してみて、いかがでしたか?(必ず1つにチェック) 								
最も当てはまるものに1	□ 満足した □ ほぼ満足した								
つチェック☑ してください。	□ やや不満足だった								
しき同僚の目状的な	田中についてご記えください。								
	埋出についてこむ人へにさい。								
2. WAMの助成事業	業に期待するサービスについて、該当するものに 2 をつけてください。 (複数回答可)								
	□ 助成事業の募集案内								
!	□ 助成事業の事例紹介等の情報提供								
当てはまるもの	口広報誌 口事業報告会 ロホームページ ロメールマガジン ロSNS(フェイスブック・ツイッター)								
すべてにチェック ☑してください。	□ 事業計画時・事業実施中・事業終了後の助言や相談								
:	□ 助成先団体相互の交流や情報交換の場の提供 ホッカー ちょうご思の提供								
:	□ 事業報告会や各種セミナーなど学ぶ場の提供 □ その他								
L記同答の目体的な	:: ロ その他 理由についてご記入ください。								
上記凹合い具体がある	理田に フバ くこむへく たさい。								

◎ ご回答いただき、ありがとうございました。 自己評価が終わりましたら、助成事業完了報告書とともにご提出ください。 なお、メールによる提出も可能です。

アドレス: <u>hyoka@wam.go.jp</u>

平成26年度 社会福祉振興助成事業 事後評価結果

助成区分	
助成テーマ	
団 体 名	
事 業 名	
事業概要	

	評価項目	評価の視点	ウェイト	、スコア	S 非常に高く評価 できる水準にあ るもの		A 高く評価できる水 準にあるもの		B 良好な水準にあ るが、一部課題 のあるもの		C 一定の水準にあ るが、かなり課題 のあるもの		全般的に多くの 課題のあるもの	
					10	10 9		7	6	5	4	3	2	1
プ	事業推進姿勢	・事業実施のための明確な理念 ・事業に取り組む意欲・積極性	1	0										
ロセス評	事業実施体制	 ・団体内部のガバナンス体制の確保等、実施体制、専門性 ・有効性、実効性ある外部資源の活用・連携 	1	0										
価	事業実施プロセス	・効果的、効率的、経済的な事業 の実施 ・継続的な改善への結び付き	1	0										
成	アウトプット	計画どおりに実施され、予定した成果を生むものとなったか量的な指標の達成の程度	2	0										
果評	アウトカム	・事業の利用者等のニーズを満 たした価値ある成果だったか	3	0										
価	インパクト	・事業成果が地域や社会に与えるインパクト ・事業成果の他地域への広がり	2	0										
プロセス評価		3	0.0											
	成 男	以評 価	7	0.0										
					S		A	ı	В		C		D	
			ウェイト	総 合 スコア	非常に高 く評価で きる水準 にあるも の	高く評価準にある	できる水 るもの	良好な水が、一部に	準にある 課題のあ	一定の水 が、かなり あるもの	、準にある り課題の	全般的にの	多くの課題	io ある
	総合	计 評 価	10	0		ı								

		助 成 申 請 時	完 了 報 告 時
	謝金	H	PI
	旅	H	PI
	所 費	PI	П
	WAM助成金	H	H
収	参 加 費	H	PI
入	一般会計繰入金	H	Н
	その他	Н	Ħ

入	一般会計繰入金	円	Ħ
	その他	円	円
【総台	計 所 見】		
◆評値	西できる点		
◆課題	題と思われる点		
A 51 -		\tag{\frac{1}{2}}	
◆助	言・その他(事業継続、貧金調	達、広報、連携・ネットワーク等)	
			1

書面評価票

評価者: 印

Tele	調査役	課長代理
確認欄		
和料		

										作利				
	受付番号													
	団体名													
	事業名													
I	助成決定額			助成	確定額					返還額				
J	助成テーマ								•					
	重点													
	事業概要													
\			ウェイト	スコア	きる水準1	く評価で	高く評価で		良好な水 が、一部 るもの	3 準にある 課題のあ	一定のか		全般的に題のある	多くの課
					10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
プロセ	争未关心体制	・団体内部の実施体制が整っており、専門性 を備えているか ・有効性、実効性のある外部資源の活用・連 携ができたか	1											
ス評価	チネスルフトにハ	・事業目的の実現のため、効果的、効率的、 経済的な手法を用いて実施できたか ・事業の利用者等の評価を確認し、継続的な 改善に結び付けているか	2											
成果	アウトプット	・事業が計画どおりに実施され、予定した成果を生むものとなったか ・量的な指標をどの程度達成できたか	3											
評価	アウトカム	・事業の利用者等のニーズを満たし、価値ある成果を上げることができたか	4											
プロセス評価			3	0.0										
		成 果 評 価	7	0.0										
総 合 評 価		ウェイト	総合 スコア	S 非常に 高く評価 できる水 準にある もの	A B B 良好な水準に あるもの ** ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		準にある 課題のあ	題のあが、かなり課題の		D 全般的に多くの課題のあるもの				
				0										
				10	0 9	0	7	0	5	0		30		(
	価者コメント													
	○気になった点													